

NII 10年の歩み

情報学—Next
10 Years

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
全 体		初代所長 猪瀬博前学術情報センター所長就任	末松安晴前所長就任				坂内正夫所長就任					
研究成果	学術情報センターに創設準備室設置。創設準備委員会設置	国立情報学研究所が設置。7研究系、2研究施設、3部9課1室、定員149名でスタート	学術情報ネットワーク（SINET）、目録所在情報サービス（NACSIS-CAT/ILL）、情報検索サービス（NACSIS-IR）、電子図書館サービス（NACSIS-ELS）、Webcatサービスなどを中心的なサービスとして活動			藤山教授ら国際ゲノム解読チーム 【比較ゲノム解析の研究】ヒトとチンパンジーのゲノムの違いは1.23% 【データマイニングアルゴリズム】データマイニングの代表的な問題である相関ルールマイニングの高速アルゴリズムを開発 国際プログラミングコンテストFIMI04において、大差で優勝。現在も最速のパターンアルゴリズム	大学とのネットワーク運営連携本部等による次世代情報情報基盤提供開始 【コンテンツ】「想—IMAGINE Book Search」公開 20年以上の未解決問題の解明に成功。 2007年当時、世界最高速の40Gbps/バックボーンを実現。世界で初めて、超高品質通信を実現するL1帯域オンデマンドサービスを実現。日本で初めて、光対応プロトコル（GMPLS）を用いたネットワークを実現。	研究体制を、7研究系35部門、2研究施設8室から、4研究系17グループ及び連携研究部門、5研究施設に再編 【コンテンツ】「想—IMAGINE Book Search」公開 20年以上の未解決問題の解明に成功。 2007年当時、世界最高速の40Gbps/バックボーンを実現。世界で初めて、超高品質通信を実現するL1帯域オンデマンドサービスを実現。日本で初めて、光対応プロトコル（GMPLS）を用いたネットワークを実現。	米国NIST主催のビデオ検索技術コンテストTRECVIDで参加者32中、第2位 【放送映像コーパスを用いた映像解析の研究】大量の放送映像コーパスを活用した、世界トップレベルの映像解析技術の研究・開発。 【グラフ理論に関する研究】グラフ理論の平面性の拡張に成功。グラフ理論に関する世界のトップレベルの基礎研究。STOC, FOCSなど、Computer Scienceの理論に関するtop conferencesでの一連の論文発表 【光IPハイブリッドネットワークアーキテクチャの研究】光IPハイブリッド技術と最大40Gbpsの基幹回線を採用し、世界初の先進機能を実用化した「SINET3」の本格運用開始。 【量子情報処理の研究】量子暗号鍵の伝送距離記録を更新、200Km達成～NTT、NII、米NIST共同～	情報セキュリティの日功労者表彰の受賞 高等教育機関に適した標準的かつ活用可能な情報セキュリティ規程群を電子情報通信学会と共同で策定。セキュリティ水準の向上に貢献。 最先端研究開発支援プログラムスタート「量子情報処理プロジェクト」「巨大データベース時代に向けた最高速データベースエンジンの開発と当該エンジンを核とする戦力的社会サービスの実証・評価」		
ネットワークコンテンツ		大学図書館との連携事業「目録所在情報システム（NACSIS-CAT）」における図書所蔵レコード登録件数5,000万件突破		10Gbpsの世界最高速の学術情報ネットワーク「スーパーSINET」の運用開始 Webcat Plus（NII 図書情報ナビゲータ）の公開開始		CiNii（NII 論文情報ナビゲータ）を試験公開。学術コンテンツ登録システムの運用を開始。	GeNii（NII学術コンテンツ・ポータル）正式運用開始	日本最大の学術電子ジャーナルアーカイブの実現 大学図書館と連携して610万論文に	CiNii（NII論文情報ナビゲータ）とGoogleの連携開始	文化遺産オンラインを本格公開	目録所在情報システム（NACSIS-CAT）における所蔵レコード登録件数が1億件突破	
教育・人材育成・国際				総合研究大学院大学数物科学研究科に情報学専攻開設。大学院生の受け入れ開始 ドクター1号スタート！			NetCommons Ver1.0.0 公開 産学融合ソフトウェア人材育成教育プログラム（TOPSE）の開始 現在、小中学校を中心に約2500機関に導入				MOU締結が全世界50機関に到達	